

2026年3月19日

地方創生

## 十六銀行×岐阜大学 産学連携イノベーションミート・アップ 「製造業×AI 社会実装セミナー・交流会」を開催しました

十六フィナンシャルグループの十六銀行（以下「当行」といいます）は、東海国立大学機構 岐阜大学と共同で、AIを活用したDXの実装を目指す製造業のみなさまを対象としたセミナー・交流会を開催しました。

本イベントは、深刻な人手不足や技術伝承、生産性向上といった製造業の喫緊の課題に対し、最新のAI技術を活用した具体的な解決策を提示することで、地域産業の持続的な発展を支援することを目的としています。大学への相談に対するハードルを下げ、多くの企業が新たな一步を踏み出すきっかけを創出いたしました。

### 記

#### 1. 開催概要

名 称	十六銀行×岐阜大学 産学連携イノベーションミート・アップ 「製造業×AI 社会実装セミナー・交流会」
日 時	2026年3月16日（月）13:30～16:00
会 場	じゅうろくプラザ5階 中会議室1・2
内 容	○第1部：AI最先端技術・活用事例の紹介 ○第2部：交流会・個別相談会

#### 2. 当日の様子

『知る』だけで終わらせない！現場の課題解決を実現し、未来へつながる時間を。」をコンセプトに、実践的なプログラムを提供いたしました。

第1部のセミナーでは、岐阜大学工学部の教授4名が登壇し、最新の研究内容に加え、実際の企業における導入・活用事例をご紹介いただきました。また、第2部の交流会・個別相談会では、教授陣と参加者が直接対話できる貴重な機会となりました。

参加者からは「大学への相談は敷居が高いと感じていたが、直接名刺交換ができて良かった」「社内で内容を共有し、具体的な検討を進めたい」といった声が寄せられました。



当行は今後も、地域の大学や教育機関との連携を深め、広範ネットワークを活かした「産学の橋渡し」を行うことで、地域企業と大学双方の持続的な発展に寄与してまいります。

以 上



十六銀行



東海国立  
大学機構



産学連携イノベーション ミート・アップ

# 製造業 × AI 社会実装セミナー・交流会

～『製造業のDX化』を最新AI分野から紐解く～

先着**30**名限定  
事前予約必須  
参加**無料**

『知る』だけで終わらせない！

現場の「人手不足打破・技術伝承・生産性向上」を実現し、  
未来へつなげる時間を。

日時

2026年3月16日(月)  
13:30～16:00

会場

じゅうろくプラザ 5階  
(岐阜市橋本町1丁目10-11)

第1部：AI最先端技術・活用事例の紹介 下記4名の教授が登場！

第2部：交流会・個別相談 名刺交換や、現状の課題を直接相談可能！



お申込みはURLもしくは右記2次元コードよりお願いいたします。

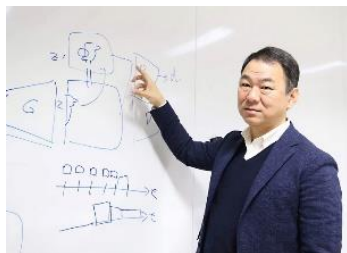
◆申込締切:2026年3月12日(木)

【URL】<https://forms.gle/uxqYG4MZ6RiUzk9Q7>



## 次世代画像認識

## 見て話せるAIと その可能性



工学部 電気電子・情報工学科  
情報コース 加藤 邦人 教授

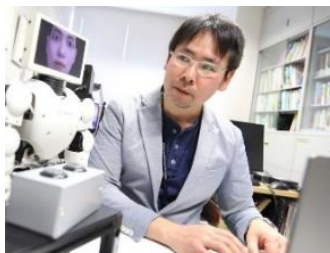
【活用例】各種製造業における  
AI外観検査

【テーマ】

- ・画像を見て言葉で説明するAIの研究と、製造現場活用事例
- ・言葉と画像の指示によりあらゆる検査に対応できる「汎用外観検査技術」
- ・識別根拠を言葉で説明する「感性情報処理技術」

## 認知科学・熟練知

## 人の心を理解可能な AIによる製品開発



工学部 電気電子・情報工学科  
情報コース 寺田 和憲 教授

【活用例】製品外観デザインの  
最適化、熟練者の技術伝承

【テーマ】

- ・人が意思決定を行う際の行動や反応から心を構造的に理解する最新研究
- ・ニーズの可視化による納得感に基づく製品・サービスの開発支援、並びに価値観のミスマッチ解消

## 生成AI活用

## 人手不足を解消するための 生成AIの活用



工学部 電気電子・情報工学科  
情報コース 鈴木 優 教授

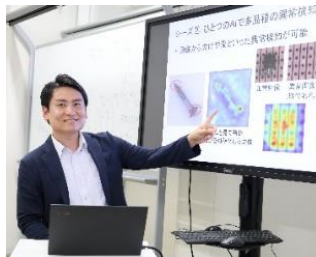
【活用例】熟練者頼みの設計・製造工程  
を蓄積データと生成AIで自動化

【テーマ】

- ・現場で深刻化する人手不足の課題に対する生成AIの活用について
- ・業務の自動化や熟練者の知識継承、意思決定支援など、現場の生産性向上と持続可能な組織づくりに向けた生成AIの可能性

## 画像処理・自動計測

## 製造現場対応 画像処理・最適化



工学部 機械工学科  
知能機械コース 佐藤 惇哉 准教授

【活用例】金属加工・検査工程の  
簡易な画像処理自動判定システム

【テーマ】

- ・企業と実施した様々な共同研究で研究・開発した「画像処理技術」を紹介
- ・AIを盲目的に導入するのではなく、対象や目的に応じて簡易な画像処理と最適化技術を組み合わせることで実現する方法